

2016年度第2四半期
決算補足資料

2016年11月7日

DOWAホールディングス株式会社

損益の状況

■ 連結損益計算書

単位：億円

	2015年度 上期実績①	2016年度上期				前年同期比増減 (③ - ①)	
		5/10予想②	実績③	増減 (③ - ②)			
売上高	2,082	1,850	1,847	△ 2	△0%	△ 235	△11%
営業利益	202	115	133	18	16%	△ 69	△34%
経常利益	206	105	135	30	29%	△ 70	△34%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	120	75	98	23	32%	△ 21	△18%

- ✓ 2016年度上期は、営業利益で前年同期比△34%の減益決算となった
- ✓ 円高の進行や半導体製品の減販により、製錬部門や電子材料部門を中心に減益となった
為替、金属価格

	2015年度実績			2016年度実績		
	1Q平均	2Q平均	上期平均	1Q平均	2Q平均	上期平均
為替：(円/\$)	121.4	122.2	121.8	108.1	102.4	105.3
銅：(\$/t)	6,054	5,251	5,653	4,730	4,774	4,752
亜鉛：(\$/t)	2,195	1,844	2,019	1,915	2,253	2,084
インジウム：(\$/kg)	445	293	369	237	206	222

事業環境（上期）

➤ 廃棄物関連

国内：廃棄物発生量は弱含み、廃棄物の処理単価が一部で低下

東南アジア：石油・天然ガス開発に関連する廃棄物処理の受注が減少

➤ 自動車関連

国内：自動車生産台数は前年比でほぼ横ばい

海外：中国や東南アジアの自動車生産台数に回復がみられる

➤ 電子部品・半導体関連

新エネルギー関連：北米、アジア市場を中心に成長が継続

スマートフォン関連：メーカーや地域毎に異なる動き

➤ 金属価格・為替相場

金属価格：銅やインジウム価格は弱含み、貴金属や亜鉛などは価格上昇

為替相場：円高の進行が続き、昨年同期比で約17円の円高水準

主要製品の動向

※2015年度1Qを100として指数化

		2015年度				2016年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
環境・リサイクル	国内廃棄物中間処理量	100	92	96	97	91	94
	リサイクル原料集荷量 (小坂)	100	94	101	96	101	110
	東南アジア廃棄物処理額	100	111	92	98	97	100
製 錬	銅生産量 (小坂・小名浜)	100	95	84	104	86	73
	亜鉛生産量 (秋田)	100	74	104	102	102	73
電子材料	LED販売量	100	108	77	58	57	50
	銀粉販売量	100	102	114	97	127	128
金属加工	伸銅品販売量	100	98	103	99	101	106
熱 処 理	熱処理加工売上高	100	100	104	100	100	104
	工業炉売上高	100	81	80	82	65	76

セグメント別の損益（上期）前年比

単位：億円

	2015年度上期実績			2016年度上期実績			比較増減			営業利益の増減内容
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・リサイクル	497	32	30	454	26	24	△ 42	△ 6	△ 5	・低濃度PCBは処理量減少 ・東南アジアは石油・天然ガス関連廃棄物の受注減
製錬	1,104	86	94	945	32	39	△ 158	△ 53	△ 55	・円高や金属価格の下落、原料条件の悪化により減益
電子材料	251	47	49	270	28	28	19	△ 18	△ 20	・スマートフォン向けLED減販 ・円高による減益
金属加工	403	26	27	350	32	32	△ 52	5	4	・伸銅品は、自動車向け、半導体向けともに堅調
熱処理	124	6	5	115	8	7	△ 9	2	2	・自動車向け熱処理加工需要は堅調 ・燃料コスト減
その他、 全社・消去	△ 297	3	△ 1	△ 288	5	4	9	1	5	
計	2,082	202	206	1,847	133	135	△ 235	△ 69	△ 70	

経常利益の要因別分析

単位：億円

2016年度上期 - 2015年度上期	環境・リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
施策効果・販売増減など	△ 8	△ 16	△ 19	5	3	1	△ 34
うち実収差量（数量差）	-	(△ 7)	-	-	-	-	(△ 7)
実収差量（単価差）	-	△ 17	-	-	-	-	△ 17
原料条件（為替差・ベース条件差）	-	△ 20	-	-	-	-	△ 20
払出時価簿価差・期末時価評価差	-	△ 8	-	-	-	-	△ 8
電力代ほか	-	8	-	-	-	-	8
減価償却費（製造原価）	2	△ 1	1	1	0	0	1
営業利益増減	△ 6	△ 53	△ 18	5	2	1	△ 69
営業外収支の影響							
・持分法損益	2	△ 3	0	△ 0	-	5	3
・その他	△ 1	1	△ 2	△ 1	△ 1	△ 1	△ 4
経常利益増減	△ 5	△ 55	△ 20	4	2	5	△ 70

財務の状況 ①

■ 連結貸借対照表

単位：億円

	2016年 3月末	2016年 9月末	比較増減		2016年 3月末	2016年 9月末	比較増減
流動資産	1,686	1,683	△ 2	流動負債	1,006	1,062	56
				固定負債	604	564	△ 39
固定資産	1,957	1,965	7	非支配株主持分	84	81	△ 3
				自己資本	1,949	1,940	△ 8
総資産	3,644	3,649	4	負債・純資産計	3,644	3,649	4
				有利子負債	811	853	41
				自己資本比率 (%)	53.5	53.2	-0.3

- ✓ 総資産は、設備投資により有形固定資産が増加
- ✓ 有利子負債は、原料在庫の増加に伴う支払いなどにより、853億円に増加

財務の状況 ②

■ 連結キャッシュフロー

単位：億円

	2015年度 上期	2016年度 上期	比較増減
営業キャッシュフロー	△ 0	107	107
税金等調整前当期純利益	184	135	△ 49
減価償却費	75	73	△ 2
法人税等	△ 105	△ 26	79
その他	△ 154	△ 74	79
投資キャッシュフロー	△ 116	△ 118	△ 2
設備投資	△ 91	△ 107	△ 16
その他投資	△ 25	△ 11	14
財務キャッシュフロー	120	△ 12	△ 133
キャッシュフロー計	4	△ 24	△ 28

2016年度 連結業績の見通し

単位：億円

	2015年度 実績	2016年度 業績予想	比較増減	
売上高	4,065	3,850	△	215
営業利益	350	290	△	60
経常利益	350	290	△	60
親会社株主に帰属する 当期純利益	218	200	△	18

- ✓ 経常利益は当初予想比で上期は増益、通期見通しも上振れ基調
- ✓ 為替や金属価格など相場環境が流動的であることから、現時点では通期の業績予想は据え置きとした

セグメント別の損益（通期）前年比

単位：億円

	2015年度実績			2016年度業績予想			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	983	63	61	940	59	61	△ 43	△ 4	△ 0
製 錬	2,149	133	139	1,970	80	82	△ 179	△ 53	△ 57
電 子 材 料	483	80	82	520	52	53	36	△ 28	△ 29
金 属 加 工	774	49	50	700	65	66	△ 74	15	15
熱 処 理	241	13	11	250	23	22	8	9	10
そ の 他 全 社 ・ 消 去	△ 565	11	4	△ 530	11	6	35	△ 0	1
計	4,065	350	350	3,850	290	290	△ 215	△ 60	△ 60

2016年度下期 前提条件と感応度

感応度（営業利益／下期）

単位：百万円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	105.0 円/\$	±1 円/\$	220
銅	4,600 \$/t	±100 \$/t	20
亜鉛	2,300 \$/t	±100 \$/t	200
インジウム	200 \$/kg	±100 \$/kg	300

※為替感応度の内訳は、製錬180百万円、電子材料40百万円です。

為替、金属価格

	2015年度			2016年度			(参考) 直近
	上期	下期	通期	上期	下期前提	通期見込	10月平均
為替：(円/\$)	121.8	118.5	120.1	105.3	105.0	105.1	103.8
銅：(\$/t)	5,653	4,778	5,215	4,752	<u>4,600</u>	4,676	4,732
亜鉛：(\$/t)	2,019	1,643	1,831	2,084	<u>2,300</u>	2,192	2,314
インジウム：(\$/kg)	369	235	302	222	<u>200</u>	211	199

※下線部が本年8月5日公表の前提条件から変更した箇所です。

感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

投資の状況

単位：億円

	2014年度 実績			2015年度 実績			2016年度上期 実績			2016年度 見込		
	設備投資 株式投資	研究開発 投資	合計	設備投資 株式投資	研究開発 投資	合計	設備投資 株式投資	研究開発 投資	合計	設備投資 株式投資	研究開発 投資	合計
環境・リサイクル	102	3	106	91	3	94	25	1	27	90	4	94
製 錬	24	27	51	52	45	97	44	14	58	90	24	114
電 子 材 料	22	26	48	38	29	68	17	15	32	40	31	71
金 属 加 工	21	5	27	28	5	34	18	2	21	40	6	46
熱 処 理	43	3	46	30	4	35	28	2	30	30	3	33
全社、その他	4	△ 1	3	7	△ 1	5	9	0	9	20	0	20
合計	218	65	284	249	86	336	142	37	179	310	69	379

(参考) 減価償却費

	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 上期実績	2016年度 見込
環境・リサイクル	46	47	21	51
製 錬	34	29	14	39
電 子 材 料	25	24	11	30
金 属 加 工	22	20	9	23
熱 処 理	18	20	9	21
全社、その他	9	9	4	11
合計	155	151	71	177

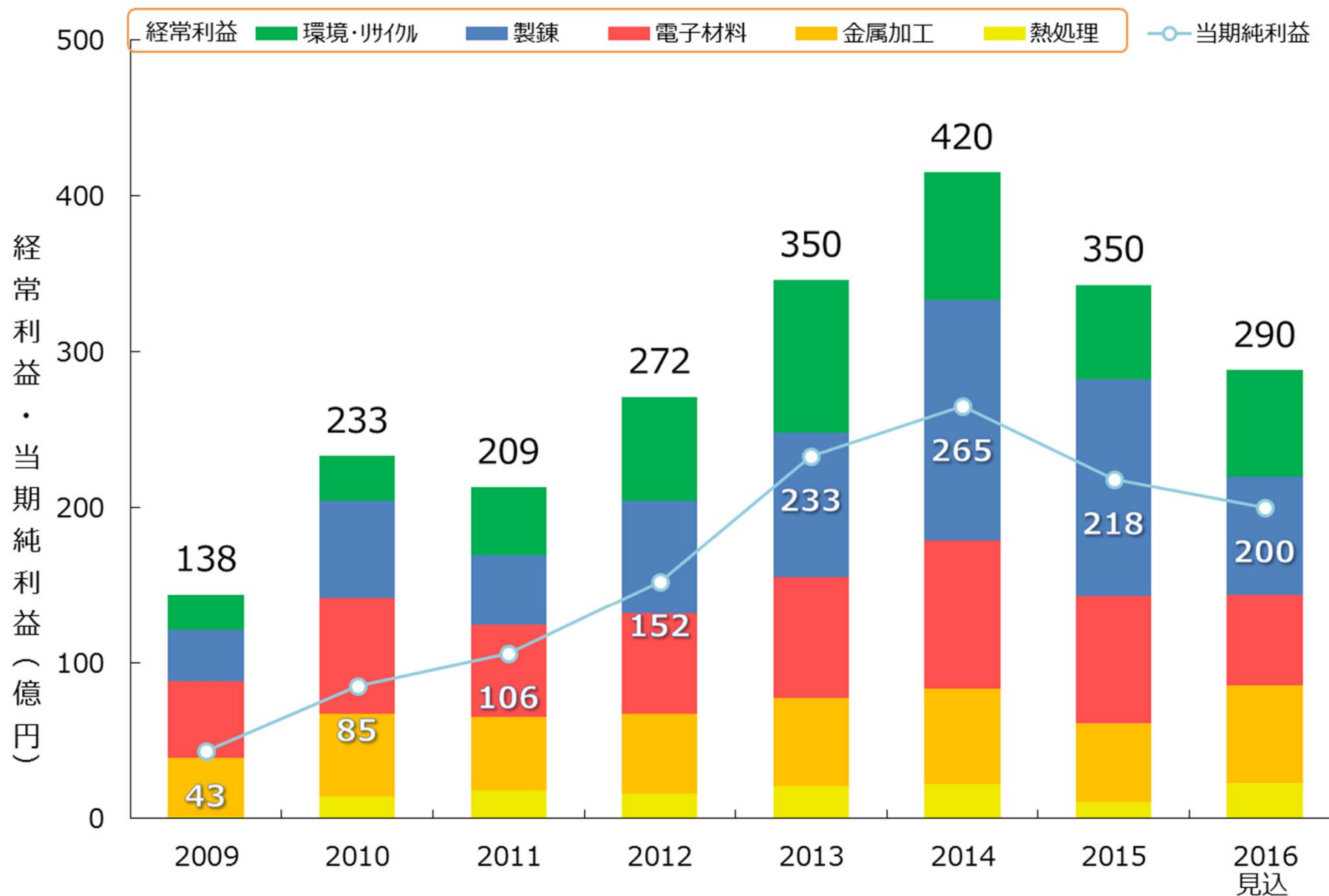
2016年度の主な投資

環境・リサイクル：シンガポールでの新焼却炉建設

製錬：焙焼炉など亜鉛製造設備の新設・更新
白金族リサイクル設備の増強

金属加工：新規めつき量産設備の建設

経常利益・当期純利益の推移



参考① セグメント別の損益（上期）当初予想比

単位：億円

	2016年度上期予想（5/10公表）			2016年度上期実績			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	450	24	23	454	26	24	4	2	1
製錬	940	20	18	945	32	39	5	12	21
電子材料	220	30	30	270	28	28	50	△ 1	△ 1
金属加工	360	28	29	350	32	32	△ 9	4	3
熱処理	130	10	9	115	8	7	△ 14	△ 1	△ 1
その他、 全社消費	△ 249	3	△ 4	△ 288	5	4	△ 39	2	8
計	1,850	115	105	1,847	133	135	△ 2	18	30

参考② セグメント別の損益（通期）当初予想比

単位：億円

	2016年度当初予想（5/10公表）			2016年度業績予想			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	970	68	68	940	59	61	△ 30	△ 9	△ 7
製錬	1,930	72	76	1,970	80	82	40	8	6
電子材料	440	58	59	520	52	53	80	△ 6	△ 6
金属加工	730	61	62	700	65	66	△ 30	4	4
熱処理	275	24	23	250	23	22	△ 25	△ 1	△ 1
その他、 全社消費	△ 495	7	2	△ 530	11	6	△ 35	4	4
計	3,850	290	290	3,850	290	290	0	0	0

DOWA

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。